

コムハウス&ねくすと通信 つうしん

2021年 8月 12日

コムハウス・ねくすと発行

No. 1112

全国的に猛暑が続き、長野県も熱中症警戒アラートが出るなど夏らしい暑い日々を過ごしています。

夏といえば、海・山・お祭りなどが連想されますが、今回は一風変わった夏の定番「怪談話」について書きたいと思います。

日本では、お盆になると死んだ人の霊が帰って来るとされていますが、中には恨みや未練を抱いた霊もあり、成仏できず幽霊になって現れると考えられています。

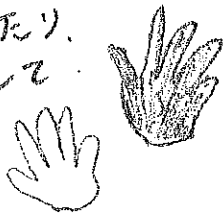
娯楽の少ない昔において芝居は大変な人気を博しており、お盆の時期に行われる芝居は鎮魂の意を込め、浮かばれぬ霊の無念や苦しみを語るようになり、次第に夏の歌舞伎の演目として定着していき、夏の風物詩となっていったそうです。

コロナ禍において外出が遠慮される中、自宅で怪談話を聞く・見るなどいつもと違った夏を過ごしてみるのはいかかでしょうか？

(菊原)

すまいる班

今年度、所在地の文化祭が
早くより作品交流を行うこと
になったので、すまいる班、こもれび班
合同で作品作りを行いました！
大きな自紙にカラフルな
手形をパタパタつけました。
少しひんやりした絵の具を
触るとビックリしたり、
ここにこしたりして
いました 😊



こもれび班

今週、こもれびでは
9日(祝)の午後に
カラオケタイムを過ごし
ました。好きな曲を
唄ってもらったり、リズム
を取って聴いてもらったり
楽しい時間を過ごして
もらいました。

ねくすと

先週の金曜日には、コムハウスとねくすと合同で「夏祭り」が行われ、
浴衣や髪飾りでおしゃれななかま音頭を踊ったりかま水やお菓子を食べ
たり様々な催し物をみんなで楽しみました！準備からなかまにも
なかま音頭の練習をしたり食事を手伝ってもらいました。

それからねくすとに「ピアノ」が来ました！半崎美子さんから半崎美子さんが使わ
れていたピアノに絵を描いて手紙と一緒に送って下っていました。

8/12(木)朝、竹内さんにピアノを弾いてもらい、「この徑に生きて」を歌いました。
素敵なピアノをありがとごさいます。大事に使わせて頂きます。